

石巻専修大学

「石巻専修大学」ホームページ: <https://www.senshu-u.ac.jp/isinomaki/>

石巻専修大学
広報係
☎986-8580
宮城県石巻市
南境新水戸1番地
☎0225-22-7717(直)

最新の
情報は
大学HPで。



4年ぶり全学部・研究科が一堂に

2022年度の学位記授与式が3月20日、本学体育館で行われた。暖かな春の日差しが降り注ぐなか、大学院修了生、学部卒業生合わせて311人が晴れやかに学窓から飛び立った。

2022年度学位記授与式



尾池学長(右)から学位記を受け取る人間学部総代の佐藤葵依さん

「より良い社会を作っていく」と力強く誓った菅原さん



尾池学長は式辞で、「4年ぶりに全学部・研究科が一堂に会して学位記授与式を挙行でき、喜ばしい」と述べた後、「未来の人類の視点から、今の自分の行いの妥当性を考えられる人にならなければならない。その具体的な行動例がSDGsに主体的に取り組むこと」と語りかけた。

大学院修了生を代表して小関諒介さん(理工学研究科)は、恩師や来賓が見守るなか、自信に満ちた表情で新たな一歩を踏み出した。

尾池学長は式辞で、「4年ぶりに全学部・研究科が一堂に会して学位記授与式を挙行でき、喜ばしい」と述べた後、「未来の人類の視点から、今の自分の行いの妥当性を考えられる人にならなければならない。その具体的な行動例がSDGsに主体的に取り組むこと」と語りかけた。

晴れやかに新たな一歩を踏み出した卒業生たち



原旭陽さん(理工学部食環境学科)が謝辞を述べた。

小関さんは「大学院で得た知識と経験を今後の人生に役立てるとともに、これからの社会への貢献に生かす」と決意を述べた。菅原さんは、コロナ禍やロシアによるウクライナ侵攻に触れ、「この激動の時代を少しでも望ましい方向に導き、より良い社会を作っていくために活躍していきたい」と力強く誓った。

定年教員

長年にわたり研究や学生の指導に力を尽くされた教員2人が今春、定年退職される。※氏名、所属学科、主な担当、主な役職、在職年数。

【理工学部】
佐々木 洋教授



生物科学科、「海洋学」、理工学部長、34年

【人間学部】
西方 守教授



人間文化学科、「教育哲学」、図書館長、34年

「人間・近藤ゼミの6人」 平和の願い込め作品制作



制作に取り組んだ6人。開催中の写真展の前で

プロジェクトは3章からなり、第1章として、モノクロ表現にこだわった写真展「モノクロとの対話」を開催。そこからイメージを膨らませ、双子の男の子が何気ない日常の大切さに気づくという筋立ての物語を作り、アニメーション(第2章)と絵本(第3章)で表現した。アニメーションはウェブで公開しており、絵本は出版して専門サイトで販売している。

約450枚の絵を描いた作画担当の穴戸さんは、「一枚一枚心を込めて細かく描画した。」



WEBオープンキャンパス

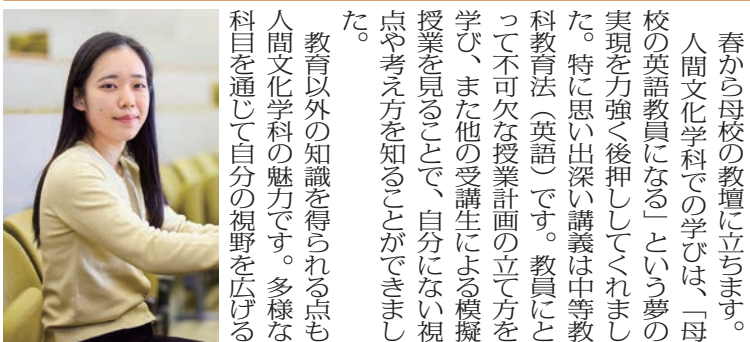
2022年オープンキャンパスの一部プログラムの様子を動画で公開中。各学科の模擬授業動画も近日公開予定です! パソコンやスマートフォンからお気軽にご覧ください!



4年次生に聞く

4年次生に、本学での日々や就職活動、今後の目標などを聞いた。

永瀬 理彩さん 人間学部人間文化学科



英語力磨き春から母校の教壇に

春から母校の教壇に立ちます。人間文化学科での学びは、「母校の英語教員になる」という夢の実現を力強く後押ししてくれました。特に思い深い講義は中等教科教育法(英語)です。教員にとって不可欠な授業計画の立て方を学び、また他の受講生による模擬授業を見ることで、自分なりの視点や考え方を磨くことができました。

教育以外の知識を得られる点も人間文化学科の魅力です。多様な科目を通じて自分の視野を広げることができました。

これまでお世話になった恩師たちと同じように、私も生徒のことを第一に考え、寄り添ってあげられる教員になりたいです。

出身校・内定先 鹿兒島県屋久島おおぞら高校